



平成 28 年 8 月 29 日

各 位

会社名 株式会社ピクセラ
代表者名 代表取締役社長 藤岡 浩
(コード番号 6731 東証第二部)
問合せ先 取締役 池本 敬太
(TEL 06-6633-3500)

大手通信事業者からの開発受注に関するお知らせ

当社は、本日、大手通信事業者から4K映像対応のセットトップボックス（STB）の開発を受注いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 今回の受注について

当社が大手通信事業者の自社サービス向けに開発・製造する4K[※]映像対応のセットトップボックス（STB）^{***}とは、同機を操作するだけで、テレビ画面上で様々なインターネット動画コンテンツの視聴を可能にするものであります。当社は以前より同製品の開発に取り組んでおり、既に完成度の高い段階まで進捗しておりましたが、この度、当該製品にかかる開発を受託したことで、速やかに開発を完了させ、当該受注先への新製品納入に向けて進めてまいります。

なお、当該新製品の出荷開始時期、生産数は当該大手通信事業者と調整中であり、決定次第速やかに公表いたします。

当社では、この4K映像対応のSTBを一般向けに、次世代STBとして家庭内の様々なIoT機器をインターネット環境に接続するためのゲートウェイ機能や、現在はスマートホンや専用端末でしか視聴することができないVR映像を、家庭用のテレビでも視聴できるようにする機能、さらに、AIを使った視聴番組のお勧め機能等、当社の従来の既存ビジネスと新規ビジネスを融合させた主力商品とするべく開発を進めてまいります。

この度の受注に始まる当社における取組は、将来発展が期待される4Kテレビ放送の開始へ向けて、テレビ放送の4K映像の受信にも当社のSTBを活用できる態勢を整えてまいります。

現在、日本国内における4Kモニター搭載テレビの保有者は200万人程度と言われておりますが（JEITA発表資料）、2018年までにその数は500万人まで増加すると推測されております。2018年後半からの4K実用放送スタート後はその数は加速度的に増加が見込まれますことを考えますと、当社が開発する4K対応の次世代STBに対するニーズは高まるものと考えております。

2. 受注概要

- (1) 受注先 : 大手通信事業者
- (2) 受注内容 : 4K映像対応セットトップボックス製品に係る開発の受託
- (3) 受注金額 : 開発費用として約3億円

3. 今後の見通し

本件の売上計上の時期は、平成 29 年 9 月期の上半期中を予定しております。また、上述の開発受託および新製品売上による業績への影響につきましては、平成 29 年 9 月期業績予想に織り込んで公表いたします。

- ※ 4K とは現行テレビ (2K) の画素数の 4 倍の画像解析度を有す
- ※※ セットトップボックスとはケーブルテレビ放送、衛星放送、地デジ放送、ブロードバンド VOD などの放送信号を受信して、一般のテレビで視聴可能な信号に変換する装置。
- ※※※ 守秘義務により、大手通信事業者名の公表はできません。

以 上